



赤城北中だより

澁川市立赤城北中学校
R5学校通信
第14号
令和6年3月13日
吉野 忠義

ご卒業おめでとうございます！中学校で頑張ったことを自信に、自分らしく前進してください！

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの中学校3年間は半分以上がコロナ禍で、不安や我慢をしながらの生活でした。しかし、その様な中でも明るく常に前を向き頑張る姿を見せ、赤城北中学校を引っ張ってくれました。本当に頼もしい3年生でした。

中学校の全課程を修了し、いよいよ赤城北中学校を巣立っていきます。先生方も在校生も寂しい気持ちで一杯です。この卒業は一つのゴールですが、皆さんの人生にとって大切なスタートです。義務教育9年間、様々な困難を乗り越え、今日まで頑張ってきた皆さんは、これからの人生を素晴らしいものにできる力強さをもっています。ぜひ、自信をもって自分の人生を自分らしく前進して行ってください。皆さんの人生が幸多きことを心より願っています。頑張ってください！



卒業というスタート！「主人公」として胸を張って、力強く自分の道を歩んでください。

式辞

暖かく優しい風が春を感じさせる今日の佳き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、第七十七回卒業式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ただ今、中学校の全課程を修了した証として、卒業証書をお渡ししました。たった一枚の紙ではありますが、その中には皆さんが三年間、全力で過ごして得られた、たくさんの喜びや、達成感、そして、皆さんのことを心から大切に思い支えてくださった、ご家族や地域の方々の思いが、ぎゅぎゅと詰まっています。どうか、そうした思いを感じるとともに、感謝の気持ちを忘れないでください。

さて、皆さんの中学校二年間は、コロナの影響で様々な制約や我慢、そして不安の中での生活でありました。しかし、最後の一年は様々な活動が再開し、中学校最後の年を充実させることができましたことと思います。

その様な中、今年度より「縦割り活動」を取り入れ、異年齢の集団での活動が沢山ありました。赤城南北交流体育大会では、各団をリードしながら練習を重ね、当日には全力で競技する姿、団の仲間を精一杯応援する姿など、最上級生として、下級生にとって憧れとなる姿を沢山見せてくれました。

また、校内学習発表会での合唱では、異学年での合唱という難しさがある中、自ら大きな歌声を響かせたり、後輩へ温かいアドバイスをしたり、リーダーとして立派に団をまとめ、当日には感動と元気を与える素敵な合唱を披露してくれました。

その全てにおいて、皆さんは輝いていました。その雄姿は、在校生の心にしっかりと刻まれ、赤城北中学校の伝統として、引き継がれていくことと思います。卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。

この三年間の一人一人の心に刻まれた、数々の思い出は、これからの人生において、皆さんの心の支えとなるはずです。自信をもって、力強く前進し、活躍することを心より願っています。

ここで、新たな世界に羽ばたいていく皆さんに、ある曲の一節を紹介します。

「どんなに小さな物語でも、自分の人生の中では、誰もが皆、主人公。」

これは、さだまさしさんの「主人公」という曲の一節です。

この卒業は、ゴールであるとともに人生のスタートでもあるのです。さだまさしさんの歌詞の通り、皆さんは、皆さんの人生において、まぎれもなく「主人公」です。これから自分で自分が主人公としての、物語を作っていくのです。その中で、時には思い悩むことや、あの時に戻ってやり直したいと思うこともあることと思います。しかし、皆さんには挫折や壁を乗り越える強さがあります。また、いつでも支えてくれる大切な仲間がいるのです。これからも、仲間を大切にしながら、「主人公」として、自分の人生の中で、自分らしく輝いていってほしいことを願っています。

保護者の皆様、本日は誠に、おめでとうございます。中学校卒業という晴れの日を迎えるまで、ご苦労もあったかと存じますが、立派に成長されたお子様を前に、喜びも、ひとしおのことと思います。教職員を代表して心より、お祝い申し上げますとともに、本日まで様々な面から本校の教育活動に、ご理解・ご協力を賜りましたことに対し厚く御礼を申し上げます。

結びに、本校に対し常に温かいご指導・ご支援をいただきました、地域の皆様に感謝申し上げますとともに、卒業生をはじめ皆様の前途に幸多きことを願い、式辞といたします。

令和六年三月十三日

澁川市立赤城北中学校

校長 吉野 忠義

お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えた「3年生を送る会」!



3月1日(金)に「3年生を送る会」を実施しました。前半は在校生の感謝の気持ちを込めた出し物でお礼を伝え、後半は生徒会本部役員の皆さんが中心となって作成してくれた「思い出のアルバム」を視聴しました。1年生は、ダンスパフォーマンスと合唱で3年生への感謝の気持ちを伝えました。2年生は、琴の演奏と書道パフォーマンスで3年生への感謝の気持ちを伝えました。短い期間の中それぞれの学年が、3年生への感謝の気持ちを伝えるために、生徒が主体となって考え練習を重ね、当日には中学生らしいとても素敵な形で、感謝の気持ちを伝えてくれました。

3年生も動画、ダンス、合唱で「ありがとう」の気持ちを伝えてくれました。1時間という短い時間でしたが、とても心温まる素敵な時間となりました。在校生の皆さん、素敵な出し物をありがとうございました。3年生の皆さん、最後まで最上級生として立派な姿を見せてくれてありがとうございました。卒業生、在校生の皆さんにとって生涯の思い出に残る素敵な会となり、本当に嬉しい気持ちで一杯です。

□■卒業後の生活を大切に■□

本日の卒業式をもって、卒業生の皆さんは赤城北中学校を卒業します。しかし、3月31日(日)までは、皆さんは赤城北中学校の生徒なのです。その自覚をしっかりともち、4月からの高校生活を充実するために、以下の点に注意して残りの日々を過ごしてくれることを願っています。

- 4月より高校に登校します。中学校よりも登校に時間がかかる人が多いことと思います。休み中も普段以上に早寝早起きを心がけ、規則正しい生活を送りましょう。
- 各高校ごとに課題が出ていることと思います。この課題は中学校の学習の復習です。計画的に進め中学校の学習をより確実なものにおきましょう。
- 高校生活では今まで以上に体力が必要です。その体力を付けるために適度な運動を心がけましょう。
- 3月中に何か起きた場合(事故や病気等)は、中学校に連絡してください。4月以降については、それぞれ進学する高校に連絡をして指示を受けてください。健康、安全に過ごし気持ちのよい4月を迎えることができるよう、1日1日を大切に過ごしていきましょう。

保護者・地域の皆様へ

本日は、お子様のご卒業誠にありがとうございます。この3年間様々な面で、ご理解ご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。この3年間、学校としてもお子様の成長を願い最善を尽くしてきましたが、至らない点もありましたことを、心よりお詫び申し上げます。子ども達は様々な困難を乗り越え、この3年間大きな成長を遂げました。その陰で、保護者の皆様、地域の皆様が常に温かく支えてくださったことに心より感謝申し上げます。卒業生の皆様、保護者の皆様、地域の皆様に幸多きことを願っています。

